

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会
開催日時	令和6年1月27日(土) 10時から10時40分まで
開催場所	禁野小学校図工室
出席者	(会長) 松本委員 (副会長) 森委員 (委員) 森田委員、春永教頭(代理出席)、畑中委員、芝委員 (事務局:新しい学校推進室) 西村課長、萩森課長代理、多田係長、徳田係長、廣瀬主任 (事務局:建築課) 津熊課長、中課長代理、澤田係長、福間主任、前田係員 (前田組・浦辺設計共同企業体) (前田組) 尾崎設計部専任部長(浦辺設計) 前田一級建築士
欠席者	齋藤委員
案 件 名	1. 禁野小学校整備事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査について 2. 禁野小学校(旧中宮北小学校)体育館空調設備整備事業について 3. 禁野小学校の新校舎整備について 4. その他
提出された資料等の名称	(資料1)禁野本町遺跡第236次調査の成果 (資料2)禁野小学校(旧中宮北小学校)体育館空調設備整備事業について
協議・決定・報告事項	1. 禁野小学校整備事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査は滞りなく完了し、新校舎建築はスケジュールどおりに進めている。 2. 禁野小学校(旧中宮北小学校)体育館に空調設備を整備し、令和7年度夏季までに稼働する予定。 3. 今後、確認申請を行い、令和6年7月頃から新校舎建築に着手する予定。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協議内容

以下、(事)事務局(委)委員(前)前田組(浦)浦辺設計(会)協議会会長を示す。

案件1. 禁野小学校整備事業に伴う埋蔵文化財本発掘調査について

<事務局及の説明>

- ・令和5年11月13日から令和6年1月16日にかけて、禁野小学校の新校舎建設工事に先立ち、禁野本町遺跡の文化財発掘調査が行われた。
- ・禁野本町遺跡は、奈良時代後半頃に百済王氏が創建したとされる百済寺跡の北側に広がる古代遺跡都市である。
- ・百済王氏は、平安京へ遷都した桓武天皇を支えた渡来系の有力氏族で、禁野本町遺跡を中心に当時としては国の施設にしかない碁盤目状の地割、方形街区の都市を築いたとされている。
- ・今回の調査地は、想定の方形街区外の北西側に位置しているが、令和4年に実施した試掘調査で奈良時代の土器等が出土したことを踏まえ、工事で影響がある範囲に限定して本格的な発掘調査を実施した。
- ・調査の成果として、8世紀頃(奈良時代)の谷状の落ち込みや柱穴が発見され、落ち込みの中層からは、奈良時代頃の土師器や須恵器が出土した。
- ・土師器の煮炊き具である甕の表面に煤が付くものが多いことや、谷状落ち込みの東肩付近で柱穴が出土することから、周辺には奈良時代の宅地があったことが明らかになった。
- ・今回の発見は、百済王氏の都市整備が従来想定していたものより広く構想されていた可能性を示す重要な成果と言え、今後の周辺部での調査によって、その様子が確かめられていくことが期待される。
- ・調査現場は1月16日に原状復帰して現場を完了とし、禁野小学校新校舎整備事業のスケジュール等に特に影響しない。
- ・土師器や須恵器等の出土品の一部を禁野小学校新校舎に展示するなどし、子どもたちが地域の歴史や文化を学ぶことができるような形で活用していきたい。

<質疑・意見など>

- (委) 発掘調査は、今後、当該敷地内の他の場所で行われることはあるのか。
- (事) 他の場所で行われることはなく、1月16日ですべて終了した。
- (委) 資料1裏面の地図で、現在の施設や道路との位置関係がわかるように作成した方が地域の方々へ説明しやすい。
- (事) 修正した資料を次回の校区コミュニティ協議会開催までにお渡しさせていただく。
- (委) 現在は既に埋め立ても完了しているのか。
- (事) 埋め戻し等、現状復旧が完了し、敷地内は平らな状態に戻っている。
- (委) 発掘された土器等は珍しいものなのか、一般的なものなのか。
- (事) 禁野本町遺跡発掘調査では同様の土器等が出土されており、特に珍しいものではないものと聞いている。
- (委) 禁野小新校舎に展示するのは土器だけなのか。現場写真や発掘された状況のレプリカ等も展示すれば良いのではないか。
- (事) 今後検討していきたい。
- (委) 今回、事後報告として聞いているが、発掘調査の状況や結果をもう少し早く地域へ伝えることもできたのではないか。
- (事) 今後、情報は速やかにお伝えできるよう努めていく。
- (委) 資料1「周辺部の調査」は学校以外の調査を指すのか。
- (事) 学校は既に調査が完了しているため、それ以外の調査を指す。
- (会) 新校舎での展示にあたっては、子供たちにとって出土品がより身近なものとなり、歴史を考えるような見せ方を検討してほしい。

案件 2. 禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備整備事業について

<事務局の説明>

- ・現在、本市では市立小中学校の体育館に空調設備を設置する「枚方市小中学校体育館空調設備整備DBO事業（設計・施工・管理一括）」を進めている。
- ・禁野小学校については、体育館を含め旧中宮北小学校校舎で暫定運用しているところだが、今回、児童の熱中症対策に係る学習環境の整備について再検討した中で、他の市立小中学校と同様に体育館空調設備を同校の体育館にも設置するとした。
- ・令和6年度に設置工事を進め、令和7年夏季に稼働する予定。

<質疑・意見など>

- （委）据置型を設置するのか。
- （事）今後設計を進めていく中で仕様を決めていく。
- （委）据置型の場合、どうしてもある程度の床スペースを確保する必要があり、子どもたちの球技等に配慮する必要も出てくる。避難場所として活用する場合には、床のスペースの邪魔にならないよう、大きいものより小さいものの方が活用しやすいのではないかと思う。学校とも意識を共有しながら進めてほしい。
- （事）学校とも協議しながら設計を進めていきたい。
- （委）旧中宮北小の体育館は今後どうなるのか。
- （事）現時点では正式な決定ではないが、地域から跡地は防災的な機能として活用を要望されており、庁内では体育館を存置していく方向で検討している。
- （委）体育館の耐震性能はどうなのか。
- （事）体育館は耐震補強済であり、今後の使用に問題はない。
- （委）学校体育館は学校施設開放事業として利用している面もある。
- （事）児童生徒の熱中症対策がメインではあるが、避難所利用や学校施設開放事業など地域の方々の使用も考慮していく。
- （委）今後、学校施設開放利用者から空調料金を徴収する予定はあるのか。
- （事）学校施設開放事業は、受益者負担の観点から料金の徴収が必要と考えている。しかし、料金の徴収以外にも予約方法や教職員負担軽減等の課題があり、手法については今後、学校側とも調整をしながら、改めて検討していく。
- （委）現時点でどのくらいの小学校体育館に空調設備が整備されているのか。
- （事）部活動の観点から中学校への導入を先行して進めており、小学校はその後の整備となる。
- （会）先ほどの文化財調査にしても空調設備導入にしても非常に良いことをやられているので、市民への情報発信の方法も検討しながら今後も更に進めていただきたい。

案件 3. 禁野小学校の新校舎整備について

<事務局の説明>

- ・現在、工事費の積算や関係課や学校等の意見も踏まえながら実施設計の内容をとりまとめている。
- ・市の条例に基づき、昨年11月末から校区コミュニティ協議会会長、自治会長、隣接土地所有者の方々への近隣説明（事業の概要、日陰による影響、テレビ電波による影響等）を行った。
- ・条例協議完了後に計画通知の手続きを行い、建築基準法上の安全性を確認した後、7月から新校舎建築工事に着手する予定。

<質疑・意見など>

- （委）新校舎は令和8年秋頃に完成する予定か。
- （事）令和8年の夏休みに移転できるよう、7月の完了を目途に進めている。
- （委）スケジュールは計画通り進んでいるのか。
- （事）現在順調に進んでいる。

- (委) 世間では人件費や鋼材の値上げ等で2割ほど工事費が上昇している例もあるが、設計段階での仕様の見直しはあるのか。
- (事) 設計発注した段階での仕様に基づき、工事の積算を進めている。大阪・関西万博の例もあるが、全国的に物価が高騰しているため、契約の方への反映も現在協議中である。
- (委) 学校等からの要望を蔑ろにして、安価な部材や機器への仕様変更や建築面積の削減がないように願う。もし鋼材等の値上げがあれば補正予算での対応はできるのか。
- (事) その予定はしている。水準を維持したまま工事費をいかに抑えるかが肝心である。
- (委) 万が一予算がとれなかった場合、自ずと計画が変更されるのか、この協議会等で承認された後、計画変更になる流れになるのか。
- (事) 基本設計を基に実施設計を進めており、基本的な考え方を変更するような課題は出ていない。また、間仕切りの変更等はしているが本協議会に諮るような変更はない。
- (委) 能登半島で発生したような地震が起きても大丈夫となるようなモデル校を作ってほしい。マンホールトイレも変更はないか。
- (事) マンホールトイレ等の防災設備についても、従来の小学校と比較するとかなり拡充された内容になっている。
- (委) マンホールトイレを設計段階で入れたのはよいことだ。後から追加すると費用が多くかかる。
- (会) 引き続き、新校舎の設計や工事を進めていただくようお願いしたい。

案件4. その他会議全般質疑・意見など

- (委) 旧中宮北小跡地活用の状況を教えてほしい。
- (事) 現在、進捗として説明できる段階ではないが、市長部局が中心となり、庁内や地域等の意見・要望を踏まえながら利活用について検討しているところである。また、地域から体育館は防災拠点として残してほしいと要望をお聞きしているので、庁内協議の中で反映していくよう進めている。
- (委) 12月1日に高陵校区、中宮北校区合同で自主防災会(約200名参加)を開催した際、跡地活用はどうなっているのかという声が多く出た。時間がかかる話だとは思いますが、状況を地域にも伝えてほしい。
- (事) 内容が固まったものについては、速やかにお伝えしたい。
- (委) 能登半島の地震でもわかるように、一番被害を被るのは子どもたちである。小中学校が避難所となって学校をすぐに再開できない、どこか他の場所で学習しなければならないという話もある。禁野小がモデル校の位置付けならば、跡地活用も含めてモデル校とするべきである。財産活用を検討する部局は別かもしれないが、例えば跡地を災害拠点とし、順次、学校施設は再開できるというような案を教育委員会として推していく必要もあるのではないか。
- (委) 住民の方々の意見を聞く場というのも考えていただきたい。
- (事) 今回お聞きした内容を庁内で共有していきたいと考える。
- (委) 令和6年4月1日から中宮北校区と高陵校区を統一し、禁野校区コミュニティ協議会を発足する予定で、現在、設立準備委員会を作り進めている。今後、この会議のメンバーはどのような体制で行っていくかも検討する必要がある。
- (事) 今後、新年度のこの会議体の構成等をご相談させていただきたい。会議の規約上では「地域の代表者」となっており、ご意向も窺いながら考えていきたい。
- (委) 新しい校区コミュニティ協議会の役員は、本年6月の新役員が出そろった段階で選挙を行うこととしており、4月5月は今の役員がそのままフォローするという形で新協議会に入っていく予定である。
- (委) 次回の会議開催だが、PTA会長が最後なのと3月にはある程度4月の体制が見えてくるかもしれないので、3月に会議を開催するのがよいのではないか。
- (事) それでは次回協議会は、新校舎に係る現状と次年度の体制を案件として3月に開催

するものとする。

<次回の日程及び案件>

- ・開催日時：令和6年3月16日（土）10時～
- ・開催場所：禁野小学校管理棟2階
- ・案件：「禁野小学校の新校舎整備について」「令和6年度禁野小学校の新しい学校づくり協議会の体制」